

森づくり活動 秋の危険予防 《危険生物から身を守る》

スズメバチ

- ・ハチに狙われやすい黒色の服装（衣服、帽子）はさける。
- ・刺されないためには、こちらが先に見つけて避けるのが最善策。
- ・刺すのはハチが自分の体と巣を守るための防衛行動なので刺激しない事。
- ・樹洞、土中、茂みの中、木の上、神社や祠、あずまやなどに巣を作る。
- ・ハチに刺されないためには、①ハチの羽音に注意する。②ハチが巣を作りそうな場所に近づくときは注意する。③向こう側がどうなっているかわからない場所にいきなり出ない。④ハチが飛んでいく方向をよく見る。
- ・活動を始める前にコナラやアベマキの樹液にオオスズメバチがきていないか確認する（秋季）。活動地の周辺にスズメバチが複数飛んでいる場所があれば、ハチの動きを観察し、巣がないかを確認する。ハチが水を集めていたら巣が近い。
- ・ハチに襲われたら落ち着いて警戒範囲の外に出る。ハチをつぶしたり、手で振り払わない。
- ・ハチに刺されたらポイズンリムーバで毒を抜く。傷口を流水（水道水など）でよく洗い流し、手で毒液を絞り出す。患部に虫刺され薬（抗ヒスタミン軟膏）を塗る。頭が痛いなどのアレルギー症状があれば、速やかに医師の診察を受ける。尚、アナフィラキシーショックが出れば、30分以内の対応が必要。

マムシ・ヤマカガシ

- ・見つけても触らず、その場から立ち去る。
- ・手を咬まれる例が最も多いので手元をよく見る。草むらなどに手を入れる場合は、事前によく観察する。
- ・長靴を着用するとよい。
- ・マムシに咬まれた場合は、ポイズンリムーバで毒を抜き、ゆっくり山を下りて救急病院で手当てを受ける。不必要に急がない。
- ・ヤマカガシは奥歯に毒があるため、ちょっと咬まれたくらいでは毒が入らないことが多い。但し、マムシよりも毒性は強く血清も設置されていない事が多いので注意が必要。

イノシシ

- ・どう猛ではないが驚くと突進してくる事もあるので、驚かせないために人間の存在を知らせるとともに、イノシシの存在に注意しながら山道を移動することが大切。
- ・出会ったら慌てずに動きを観察する。特に子連れのイノシシには近づかない。

マダニ

- ・足首から入り、皮膚の柔らかい部分に移動して刺す。
- ・スパッツや長靴を着用し、ズボンの裾を靴下の中に入れ込むとよい。
- ・咬まれた場合は、無理に引きちぎらずそのままにして皮膚科で取り除いてもらう。



オオスズメバチ

場所：巣の周辺。

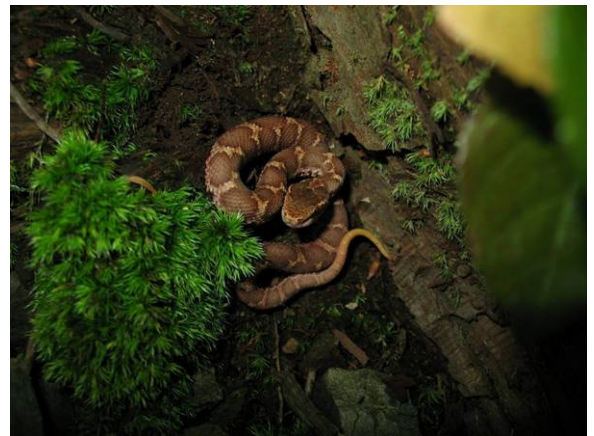
(オオスズメバチの巣は地中や
樹洞等)

活動時期：5～11月(7～10月がピーク)

マムシ

場所：森林やその周辺の田畑。

活動時期：4～11月(7～9月がピーク)



イノシシ

場所：森林内、平野部に広く分布。

活動時期：通年

マダニ

場所：主に草むらなど。ネザサ周辺に
多い。

活動時期：3～11月(6～8月がピーク)



ザ・むし (<http://musi.s6.xrea.com/nikki14.htm>)